

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」春野中学校

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得について、一定の成果が出ているものの、十分ではない。また、メタ認知能力、自己調整の力が弱い。 <指導上の課題> 反復練習する時間、自己の学習を振り返る時間を十分に確保できていない。	⇒ 「スタディサプリ」や「ドリルパーク」の活用、小テストの実施により、基礎的・基本的な内容の反復・習熟に取り組む。【授業の初め等】 「スクールタッシュボード」や振り返りシートを活用し、1時間の授業を振り返る時間を設定する。【毎回の授業の最後】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 表やグラフなどの資料から特徴や傾向を読み取り、言葉や数を用いて表現することに課題が見られる。 <指導上の課題> 生徒自身が考え、判断し、表現する場面の設定が十分になされていない。	⇒ 各教科の授業において、生徒が個人またはペア、グループで考え、判断し、表現する場を設定する。【単元ごとに1回以上】 教科横断的な視点から、総合的な学習の時間で、各教科で学習したことを活かして思考・判断・表現する場を設定する。【各学期1回以上】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)